

令和2年度旭区運営方針 区政会議委員評価シート 集計結果（令和3年9月実施）

集計委員人数計: 19

1 各経営課題に対する戦略は、総合的に見て、めざすべき将来像の実現に有効であったと思いますか？

経営課題	めざすべき将来像	戦略	評価(人数)					有効であったと答えた人の割合
			思う	やや思う	あまり 思わない	思わない	無回答	
【経営課題1】 子育て・教育 環境の一層の 充実	すべての子育て家庭が安心と喜びを実感しながら、子どもを生き、育てられるようなあたたかいまちをめざして、子育て支援を充実させる。 家庭の経済状況に関わらず、全ての子どもが健やかに成長し、自らの可能性を最大限発揮できる教育環境の実現を学校や地域と連携しめざす。	(戦略1-1) 子育て支援の充実	8人	11人	0人	0人	0人	100.0%
		(戦略1-2) 子ども自身の生きる力の育成支援	7人	11人	1人	0人	0人	94.7%
【経営課題2】 区民一人ひとりの生活に寄り添った福祉・健康施策の展開	健康寿命を延ばし、一人ひとりがいきいきと地域社会の中で生活できるまちをめざす。 障がいのある方や高齢者の皆様などの居場所・持ち場をつくり、誰もが自分らしく、安心してともに暮らせるまちをめざす。	(戦略2-1) 健康寿命を延ばす取組	8人	11人	0人	0人	0人	100.0%
		(戦略2-2) 誰もが暮らしやすいまちづくりの取組	8人	11人	0人	0人	0人	100.0%
【経営課題3】 地域コミュニティの活性化とまちの魅力の創出	豊かなコミュニティをさらに強めていただき、区民の皆様の自律的な地域運営を推進し、サークル活動などが活発な、にぎわいあるまちづくりの取組を進める。 まちの魅力が高まり、区民の皆様が地域に愛着や誇りをさらに持っていただけるまちをめざすとともに、多くの人々が訪れる活気のあるまちをめざす。	(戦略3-1) 地域コミュニティの活性化促進	5人	11人	3人	0人	0人	84.2%
		(戦略3-2) まちの魅力創出と地域資源を活用したにぎわいづくり	5人	11人	3人	0人	0人	84.2%
【経営課題4】 地域防災力・地域防犯力の強化	地震や台風、火災、河川氾濫等による災害の発生や被害の拡大を、自主防災組織の活躍により、最小限に食い止めることができる体制をつくるとともに防災意識の高いまちづくりをめざす。 犯罪や交通事故のない、安全で安心して暮らせるまちづくりを、関係機関や地域と協働してめざす。	(戦略4-1) 「ご近助」精神による防災体制の充実	7人	7人	3人	1人	1人	73.7%
		(戦略4-2) 地域防犯力の強化	7人	9人	1人	1人	1人	84.2%

2 上記のような旭区の取組は、区の目標の実現に有効であったと思いますか？

区の目標	評価(人数)					有効であったと答えた人の割合
	思う	やや思う	あまり 思わない	思わない	無回答	
「安心して住み続けられるあたたかいまち 旭区」の実現をめざす。	9人	10人	0人	0人	0人	100.0%

各経営課題に対する戦略は、総合的に見て、めざすべき将来像の実現に有効であったかどうか、どのような点から評価されましたか。

経営課題1 子育て・教育環境の一層の充実

■有効と思う・やや思う

- ・地域ぐるみでの取組みが少なくなっている。
- ・子育てサロン、こども食堂、学校のいきいき、登下校の見守り、小学校の学力向上支援、中学校の基礎学力定着支援等の事業の効果が少しずつ出ているように思える。
- ・目標の数値を達成している。
- ・部会が異なる上にコロナの影響で全体会議も不十分なので、目標が、「達成」されているのは評価するが、目標値のばらつきが大きく今後さらなる検討と推進を図って欲しい。
- ・めざすべき将来像は大変いい事だと思う。しかし家庭環境によって子供の成長をだめにする虐待等が新聞等で報道されているのは大変残念である。
- ・子育て支援の充実はこれからも引き続き継続してさらに拡大してもらいたい。子ども自身の生きる力の育成支援は、コロナへの対策がもう少し必要と感じる。今後の感染症対策を含めたデジタル化への対応の検討が早急に必要である。
- ・よく考えられた講座・イベントだと思う。さらに多くの方が参加されるように工夫されることを望む。
- ・すべての子育て家庭、すべての子どもが健やかにとあるが、ポピュレーションアプローチをさらに充実させてほしい。
- ・達成目標をもう少し高いパーセントにしてほしい。
- ・担当保健師及び地区担当制を知っているという割合は目標値を達成しているものの制度などの認知がもっと上がってほしい。
- ・「旭区」は、子育てに最適且つ最良をめざす。
- ・商店街に若いファミリー層のお客が増えてきている。どの親子連れの方も楽しくほのぼのとした雰囲気があり、生活にゆとりが感じとれる。
- ・子育て世代の親が旭区に住みたいと思っただけの子育て環境の充実整備が必要。
- ・制度の周知相談機能が充実している。
- ・コロナ禍でも実施できていることがすばらしい。
- ・すべての学校から成果が上がったと評価されているが、成果の内容の充実をめざすこと。
- ・親の経済状況にかかわらず基礎学力の充実と高度な教育を受けることができるよう支援が必要。
- ・将来を担う子供達の為に「安心」「安全」はもとより教育環境をより充実させることは、必須である。
- ・中学生の基礎学力支援旭ベーシックサポート事業に参加しているが、放課後学習支援が充実している。
- ・地域で学校等連絡を取り教育環境の実現をめざす。

■有効とあまり思わない

- ・具体的取組5はもっと多くの子どもたちの参加が必要。

経営課題 2 区民一人ひとりの生活に寄り添った福祉・健康施策の展開

■有効と思う・やや思う

- ・コロナ禍の中で家に閉じこもることが多く、外に出ることも少なかったと思うが、ワクチン接種がいき届いた事もあり、高齢者の方も健康のため歩く方が増えている。又、ご近所の老人会の集会が出来ていないのが残念である。
- ・障がい者や高齢者を見守るための人員の少なさと高齢化への対応が不十分に感じる。さらにこのコロナを見ると感染者の多くに成人病との関連が見受けられるため、健康対策がもう少し必要に思う。
- ・介護保険、ケアマネ、ヘルパー、事業所、社会福祉協議会、地域包括、地域振興会、民生、医療機関の連携がうまく機能し始めている。
- ・施策は十分だと思われる。あとは区民への意識付けと思う。
- ・いつまでも年齢なりに元気で暮らし QOL を保てるようにめざす必要がある。
- ・目標値に近い達成度で評価出来るが、コロナ禍の中で活動休止を考えると少し疑問が残る。又、「区民アンケート」集計に頼っているが、当該地区では、各アンケートに協力したという話を聞いたことがない。
- ・「生きがい」を実感できる為に、「公」「私」の施設の充実と「文化」事業や各種「イベント」を開催することにより参加する喜びを各世代が実感してほしい。
- ・健康診断をすすめる運動が不十分。
- ・コロナでできない活動が多かった。
- ・コロナ禍で生活が大きく変わっても今までの健康意識を維持・向上するため今後もがんばろう。
- ・健康フェスタ、百歳体操等はコロナの影響で中止又は回数の減少をせざるを得なかった。
- ・「いきいき百歳体操」健康大学の取り組みが良い。
- ・「相談するところがある！」ことをさらに広報等で周知できるとよい。太子橋地活協では敬老の日に、70代以上の方を訪問してお祝いと共に、コロナ禍で開かれていない包括支援センターの相談会をカバーするため”包括のチラシ”を手渡す。
- ・取組をもっと広報すべき。
- ・地域包括支援センターの認知度をもっとあげたい。
- ・高齢者の方、障がい者の方を孤独にさせず、グループとしてや社会とのつながりに区の間取り組が大きな役割を果たされ自分らしく生きてらっしゃる方が多くなったように思う。
- ・誰もが活躍できる仕組みの達成状況が良い。
- ・地域（町会）又民生委員さんと連絡を取りながら地域で見守っていく。

経営課題3 地域コミュニティの活性化とまちの魅力の創出

■有効と思う・やや思う

- ・コロナ禍で十分な活動ができなかった。しかし推進のための努力がみられる。
- ・たくさんの分野での（文化・商業・体育）のイベントがあり、にぎわいのあるまちづくりができていると思う。
- ・旭区は従前より住んでいる（特に高齢者）方々と世代交代で他から移り住んで来られた方々と故郷感が違いすぎるし、又、街全体も大きく変わって来ている中で、区民一体感の活動は困難である。他区になり旭区の良さをもっと内外の人にPR活動をしてほしい。
- ・「住んでよかった！」と思える様な「町づくり」「街づくり」をめざすこと。
- ・地域コミュニティの低下を感じる。ご近所とのつながりを感じなくなり、若者の地域活動の参加をうながす活動が必要である。もっと旭区のアピールを区外、市外、府外へ活発に行うことが重要である。
- ・コロナ禍で地活協の活動も変わっていかなければ区民の意識も変わらないと思う。
- ・「おはようございます」「今日は」に始まって仲の良い近隣関係を築くことが大切。
- ・新型コロナウイルスの感染防止の為、落ち着くまで活動中止、延期、縮小は仕方なく今は我慢の時だと思う。
- ・令和2年度はコロナ禍で地域活動が思うように実施することができなかった。今後は、コロナ禍でも何らかの活動ができるか考える時である。
- ・文化芸術によるコミュニティ育成がなされている。
- ・普段より気軽に集まり話し合いの場を作る。
- ・商店街は休業の店舗も多いが、飲食以外の魅力を考えないと思う。
- ・まちの魅力創出と発信で各々の取組が良い。

■有効とあまり思わない

- ・将来像としては、大変いい事だと思うが、コロナ禍の中で2年もたつと、活発にやろうという意識がだんだん薄れて行く様に思う。
- ・地活協の行事もほとんどできず、何かをする！！ということにリスクを感じる。今、楽しいこと、にぎわいの気分が求められていると思うが、何をしたら安全にできるか、とまどう日々である。
- ・旭区の魅力の発信を強めたい。

経営課題 4 地域防災力・地域防犯力の強化

■有効と思う・やや思う

- ・対策としては問題ないと思う。ただ、コロナ等の感染症を考えた対策はもう少し検討が必要と思う。歩きたばこへの対先が甘いと思われ、もっと厳しい対策と、歩道自体にシール等での啓発を行うなどを行って欲しい。
- ・良好な近隣関係ができれば解決につながりそう。
- ・日常的に「防災」「減災」や「防犯」意識を高めること。
- ・コロナ禍で地域の活動が出来なかった。やむを得ないと思う。
- ・今回、感染症対策も防災の一部であることが分かった。
- ・公助が届くまでの自助・共助が大切であると思う。
- ・各種取組が区民の防災意識の向上に貢献していると思う。
- ・近年、大規模な自然災害が予測される中、徐々に防災・減災意識が芽生えているが、訓練等不十分な要素が多く、役所・区民が一体となって安全を構築する必要がある。
- ・広報紙、防災演習などから家庭内で災害時についての会議が増え、シュミレーションするきっかけになった。
- ・具体的取組が良い。
- ・コロナ禍の中、ご近所が遠く感じられる時、地域のボランティア（私の場合食事サービス（高齢者））の地道な活動の継続が大切と考えている。見守り訪問等。防犯カメラの台数増など良いと思っている。
- ・青色パトロールや路面への「止まれ」シールで、安全を呼びかけ、周知できている。
- ・犯罪発生件数、自転車交通事故発生件数が減少しているのでめざすべき将来像に近づいていると思われる。
- ・防犯については、元来旭区は事件が少ない地域である。
- ・町内会の班制度を大切に班長は何か起こった時は声をかけ、班で責任を持って安全な場所へ避難する。普段より防災意識を高める。普段の声の掛け合いが大事と思う。

■有効とあまり思わない・思わない

- ・地活協の役員等は防災・防犯に関心があり、行事等にも参加するが、一般の方の関心が低い。今後はいかに地域住民に防災意識を浸透させるかが課題と思う。
- ・まだまだ始まったばかりで十分ではないと思える。自助、共助、公助の認識を深める。
- ・2回とも防災警報（ベル）が鳴らなかった。故障していると聞いた。

■無回答

- ・防災では河川の氾濫、地震、台風での発生状況は、放送等では流してくれているが聞き取りにくい。又、地域の方の防災知識が薄い。防災訓練では参加して、知識は身につけていると思うが、実際起きた場合は、ハザードマップではどこに逃げたら良いか示されているが、実際どこに避難したらよいか困惑すると思う。

旭区の実現は、区の目標の実現に有効であったかどうか、どのような点から評価されましたか。

■思う・やや思う

- ・地元で育った方は、安心して住み続けられるが、他方面から来た方は、旭区の知識が薄いため、根をはって住み続けることは難しいと思う。
- ・全体的には継続して行ってもらいたい、若者の言葉をくみとれるようにしてもらいたい。この会に30代より下の代を入れてもらいたい。
- ・コロナ禍で例年に比べ取組は不十分になった。
- ・全体としては、良い取組が行われていると思う。さらに広がりがあるとよい。
- ・区・市の発信力が少し弱いように思う。
- ・コロナ禍でも事業計画が止まらないように今後も工夫して行ってほしい。
- ・限られた区民ではなく、全区民にこの取組を知ってもらえたらもっと充実すると思う。
- ・考えうる必要不可欠な課題への取組みと思われるから。
- ・どれだけ実際の行政に生かせることができるかが課題だと思う。
- ・達成・未達成にかかわらず、目標値をもっと上げて活動を推進し、結果「評価」の「見える化」を区民に表現される事が今後重要と思われる。
- ・旭区は、「下町情緒」や「人情」が残っており、良い意味で「都会の田舎」で住みやすい。
- ・皆さん前向きで協力的、”人の良い大阪人”が旭区には大勢住んでいる。このまま持続してくれたら言う事ない。
- ・これらの取組は、今後も継続的に根気よく続けていくことが大事と思われる。
- ・コロナ下で実施できない行事も多々ある中でも旭区の実現が目標の実現に有効であったと思う。ありがとうございました。
- ・区の目標の実現に有効だと思う。